

# 家賃シミュレーション 図表の見方

## シミュレーション結果

将来に渡っての資金残高の目標とする金額である残高目標を表示しています。

### 資金残高の残高目標

2008年度までは30万円以上、2009年度から2011年度までは60万円以上、2012年度から2016年度までは150万円以上、2017年度から2026年度までは350万円以上、2027年度以降は600万円以上

シナリオ ID	シナリオ内容		シミュレーションの結果			
	家賃	家賃の期間調整	残高目標判定	資金残高の最小額		詳細ページ
1	90万円	期間調整なし	残高目標を上回る	2006年	167万円	ページ 4
2	100万円	期間調整なし	残高目標を上回る	2006年	157万円	ページ 12
3	110万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2006年	147万円	ページ 20
4	120万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2024年	-19万円	ページ 28
5	130万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2024年	-246万円	ページ 36

注1) 将来の各年度の家賃の支出額は、各シナリオの家賃に各シナリオの期間調整、および、物価調整を加えた金額となります。

シミュレーションを行ったシナリオを表示しています。1行ごとに1つのシナリオを表します。

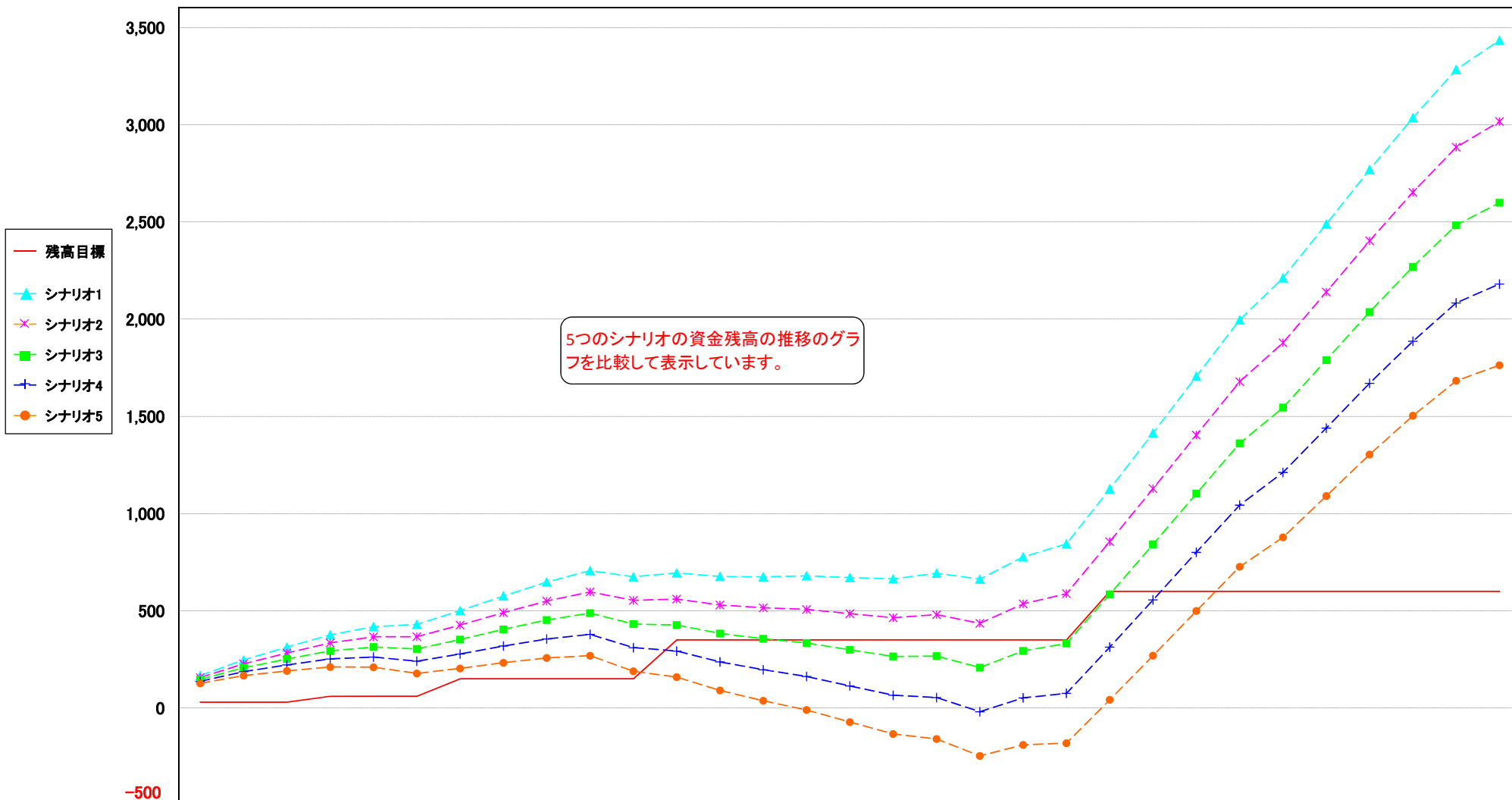
各シナリオにおける、家賃、および、家賃の期間調整を表示しています。

各シナリオにおける、資金残高が将来に渡って残高目標を上回るか、残高目標を下回る期間が残るかの判定を表示しています。

各シナリオにおける将来に渡っての資金残高の推移の中で、その最小額と最小となる年度を表示しています。

資金残高の推移

(万円)



5つのシナリオの資金残高の推移のグラフを比較して表示しています。

年度		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
年 太郎 様	年齢	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
年 花子 様	年齢	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62

年度末時点における、夫、妻の方の年齢を表示しています。資金残高が多い時期や少ない時期と年齢との関係を確認することができます。

注) 年齢は年度末時点を表示しています。

### シナリオ1 シミュレーション詳細

各シナリオのシミュレーション詳細の図表は、「資金残高キャッシュフロー」と同じ形式の図表を使用しています。シミュレーション詳細の図表については、「資金残高キャッシュフロー」の図表の見方をご参照下さい。